

2018年4月16日

株式会社 東急モールズデベロップメント

東急モールズデベロップメント
3つの商業施設、
「たまプラーザ テラス」「武蔵小杉東急スクエア」「レミィ五反田」で、
売上高が過去最高を達成

株式会社 東急モールズデベロップメント（本社所在地：東京都渋谷区、代表取締役社長：秋山浄司）は、当社が運営する3つの商業施設「たまプラーザ テラス」「武蔵小杉東急スクエア」「レミィ五反田」において、2017年度（2017年4月から2018年3月末まで）の売上高が過去最高を達成したことをお知らせします。

昨年に引き続いての過去最高売上となり、「たまプラーザ テラス」は約 250 億 1 千万円、「武蔵小杉東急スクエア」は約 153 億 5 千万円、「レミィ五反田」は約 89 億 1 千万円の結果となりました。

年度別売上高（過去2年）

	2017年度	2016年度	前年比（%）
たまプラーザ テラス	約 250 億 1 千万	約 239 億 4 千万	104.5%
武蔵小杉東急スクエア	約 153 億 5 千万	約 149 億 8 千万	102.5%
レミィ五反田	約 89 億 1 千万	約 84 億 2 千万	105.8%

単位：円

東急モールズデベロップメント 代表取締役社長 秋山浄司は「オーバーストア（過剰店舗）や EC の拡大など消費チャンネルの多様化、“モノ消費からコト消費へ”と移行する中、当社では『たまプラーザ テラス』『武蔵小杉東急スクエア』『レミィ五反田』の 3 施設が昨年に引き続き過去最高売上を達成し、さらに、『港北 TOKYU S.C.』『青葉台東急スクエア』など4つの施設¹の売り上げが前年を上回りました。これは、当社ならではのテナント誘致力と、きめ細やかでスピード感のある運営ノウハウを生かして、各施設が地域のお客さまの生活価値向上を常に考え、“人と街にあふれる笑顔を届ける”ことをモットーに施設運営を実施した結果によるものです」と述べています。

各施設の売上高増の主な要因は以下のとおりです。

■ たまプラーザ テラス

● 大型店舗とアパレル店舗が好調

2017年春にオープンした「成城石井セレクト」などの店舗に加え、「ユニクロ」「東急ストア」「無印良品」などの大型店を中心に順調に売り上げを伸ばし、物販・飲食・サービスの各カテゴリーにおいて売上高が

¹ 港北 TOKYU S.C. 約 222 億 7 千万円（前年比 102.9%）、青葉台東急スクエア 約 222 億 8 千万円（前年比 101%）、東急スクエア ガーデンサイト 約 44 億 7 千万円（前年比 105.9%）、香林坊東急スクエア 約 33 億 1 千万円（前年比 108.1%）

前年越えを達成。さらに、物販ではアパレルが好調で、業種全体の約 6 割にあたる店舗が前年を越える売り上げとなった。

- **リニューアルによる効果**

2017 年度に実施したリニューアルでは、お客さまから要望が多かったキッズと食のカテゴリーの店舗を誘致し、充実を図っただけでなく、同様に要望の声が高かった館内の休憩スペースおよび一部共用部の商環境の改善を行ったことで、新しい賑わいが生まれた。

- **過去最高のイベント数**

年間 807 本（施設主催：138、テナント主催：587、外部主催：82）のイベントを実施し、買い物に限らない多様な来館動機を創出。店舗と連携したイベントを多数開催することで、施設全体に賑わいが生まれ、来館者の増加につながった。

- **TOKYU CARD 施策**

TOKYU CARD を活用したポイント増加の施策「トリプルポイントデー（19 の日）」の浸透による安定した売り上げを確保、ならびに、年間を通して東急カード会員へダイレクトメール、メールマガジンによるアプローチを強化し、カード会員の年間利用額が拡大。

- **従業員満足度(ES)の向上**

テナント会活動の一環として、全スタッフの協働意識の醸成と接客力向上を目的とした施策を継続的に実施。その結果、接客力・販売力が向上し、売り上げ増に貢献。

※ 「たまプラーザ テラス」は、織研新聞社主催による 2017 年度の「ディベロッパー & テナント大賞」において、部門賞「テナントが選んだディベロッパー大賞」で「ES 賞」を 5 年連続で受賞。

- **武蔵小杉東急スクエア**

- **デイリー性の高い店舗が好調**

2013 年の開業より追求してきた、地域に密着したデイリーニーズの取り込みが「日常に必要なものが必ずあるショッピングセンター」としてお客さまの支持を集め、2017 年度においても、「東急フードショースライス」「ユニクロ」「ハックドラッグ」「アイシティ」といったデイリー性の高い店舗を中心に売り上げを伸ばし、物販・飲食・サービスの各カテゴリーにおいても前年売り上げを達成した。さらに、周辺エリアにおけるタワーマンションの建設ラッシュなどによる人口増に伴い、武蔵小杉駅の乗降客も増加し、入館客数も前年比 103%と好調だった。

- **リニューアルによる効果**

2017 年春にオープンした「キャンドウ」「オリエンタルトラフィック」「ハートダンス」は好調に売り上げが推移した。特にかねてよりお客さまからの要望が多かった 100 円ショップ「キャンドウ」の導入は、フロアへの流入が増え、周辺店舗への波及効果も大きく、同フロア入口における入館客数は前年比 112%を達成。

- **CS（顧客満足）対応の強化**

店舗スタッフを対象としたセールストークやニーズ把握などの研修を多数開催しスキルアップを図り、2017 年度 SC 接客ロールプレイングコンテスト全国大会（一般社団法人 日本ショッピングセンター協会主催）のファッション・物販部門において優勝者を輩出した。

- **レミィ五反田**

- **既存店のリニューアル効果**

足元商圏の取り込み強化策として、「東急ストア」を大幅リニューアル。セルフレジを導入するなど、より買い物しやすい環境を提供することで年間を通じて売り上げが好調に推移。また、駅利用者のニーズに

応えカフェ店舗を増床リニューアルし、カフェ機能の充実により、お客さまの利便性や満足度の向上につなげた。

- **生活雑貨業種の好調**

「東急ストア」などのリニューアルによる集客増が上層階への波及効果にもつながり、「無印良品」「プラザ」「キャンドウ」などの生活雑貨業種が好調に推移。足元商圏のデイリーニーズを捉え、施設全体を牽引した。

- **TOKYU CARD を活用した取り組み**

TOKYU CARD を活用したポイント施策「トリプルポイントデー（25日）」の継続や、TOKYU CARD 会員へ優待サービス実施により、東急カードの保有率・使用率を高めた結果、リピーターの拡大、カード会員の売り上げ増につなげた。

- **駅直結の催事スペース「remy's marche」の充実**

駅直結の催事スペース「remy's marche」において、週替わりの催事店舗をバラエティー豊かに展開。季節感の創出と駅利用者のニーズに合った特色のある店舗を展開することで売り上げが前年を上回るとともに、施設全体の鮮度維持や入館効果にもつながった。

- **入館者数の増加**

大崎地区の再開発による人口増や事業者数・就業者数の増加、ならびにイベント・リニューアル効果により、入館者数が1,525万人と過去最高を記録し、売り上げ増につながった。

以上

たまプラーザ テラスについて

名称： たまプラーザ テラス
所在地： 〒225-8535 神奈川県横浜市青葉区美しが丘 1-1-2
運営： 株式会社 東急モルズデベロップメント
開業日： 2010年10月7日
営業面積： 約28,179㎡ ※ノースプラザ（東急百貨店）・リンクプラザ除く
テナント数： 150店舗 ※ノースプラザ(東急百貨店)除く
アクセス： 東急田園都市線「たまプラーザ」駅直結
営業時間： ショップ：10:00～21:00 レストラン：11:00～22:30
URL: www.tamaplaza-terrace.com

武蔵小杉東急スクエアについて

名称： 武蔵小杉東急スクエア
所在地： 〒211-8619 神奈川県川崎市中原区小杉町 3-472
運営： 株式会社 東急モルズデベロップメント
開業日： 2013年4月2日
営業面積： 11,174㎡
テナント数： 96店舗
アクセス： 東急東横線・目黒線「武蔵小杉」駅直結、
JR 南武線・横須賀線「武蔵小杉」駅北改札連絡通路直結
営業時間： ショップ：10:00～21:00 レストラン：11:00～23:00 ※一部店舗により営業時間が異なります
URL: www.kosugi-square.com

レミイ五反田について

名称： レミイ五反田
所在地： 〒141-0022 東京都品川区東五反田 2-1-2
運営： 株式会社 東急モールズデベロップメント
開業日： 2008年4月23日
営業面積： 約 6,839 m²
テナント数： 36 店舗
アクセス： 東急池上線、JR 山手線、都営浅草線「五反田」駅
営業時間： ショップ：10:00～21:00 レストラン：11:00～23:00
URL: www.remy-remy.com

株式会社 東急モールズデベロップメントについて

株式会社 東急モールズデベロップメントは、SC（ショッピングセンター）の運営・管理を行う、東急グループの一員。東急線沿線を中心に、駅直結もしくは駅前などの好立地において、駅利用者や地域にお住まいの方々のさまざまなライフスタイルに合わせた店舗ならびにサービスを提案し、14 の地域密着型ショッピングセンターを展開。主な商業施設は、「二子玉川ライズ・ショッピングセンター」「たまプラーザ テラス」「武蔵小杉東急スクエア」などの“東急スクエア”ブランド。さらに、東急線駅構内・駅近隣に展開する商業施設ブランド「エトモ」も運営しています。